

どんど焼き



1月16日に児童公園で「どんど焼き」が行われました。

当初、14日に予定されていましたが、雨のため延期となり、小学生は参加されませんでした。保育園の年長児と一緒に参加されました。

高く組んだ木材を3本の青竹で覆い、しめ縄や飾りを入れ、その周りを小学生が書いた書初めで飾られ、火をつけると勢いよく燃え上がり、園児と一緒に一年の無病息災をお祈りされました。

第4回定例会

決まったこと 補正予算・主な質疑 >>> P.2

各議員の賛否・臨時会他 >>> P.3

一般質問 5人が町政を問う >>> P.4

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.10

まちの元気 和東町中在住の西田さん夫妻 >>> P.12

令和4年度
補正予算

生活支援として 商品券や燃料券を配布

10月の臨時会及び12月定例会で提案された補正予算では、一般会計・特別会計合わせて、1億4,060万円を追加され、原案どおり可決しました。

○一般会計（主なもの）

・価格高騰緊急支援給付事業（非課税世帯対象）	2,984万円
・価格高騰支援商品券事業	2,043万円
・和東保育園耐震改修事業	1,622万円
・コロナウイルスワクチン接種事業	752万円
・茶源郷乗合交通生活お届け事業（ワツカー）	668万円
・生活支援燃料券事業	587万円
・石寺景観前駐車場整備事業	200万円
・京都府議会議員選挙	279万円

○国民健康保険会計

・一般被保険者療養給付負担金等	1,860万円
・診療所オンライン資格確認システムの整備	80万円

○簡易水道会計

・燃料高騰等に伴う電気代や医薬材料費	170万円
--------------------	-------

○下水道会計

・燃料高騰等に伴う電気代	130万円
--------------	-------

○介護保険会計

・地域密着型介護サービス給付事業や介護予防サービス給付事業の増	300万円
---------------------------------	-------

主な質疑

問 生活支援燃料券の内容は。

答 1世帯3000円分を支援するもので、使用は町内事業者限定。

問 乗合交通（ワツカー）実証実験期間延長による変更内容は。

答 期間を3月24日まで延長し、運行時間も7時から19時までとする。町外の方や観光客も利用対象とし、更に路線バスの利用促進を図る。また乗降場所も58ヶ所から72ヶ所に増やす。

問 国保診療所に設置されるオンライン資格確認システムとは。

答 マイナンバーカードを保険証として利用される場合、それを受けるシステムの構築で、令和5年4月頃の稼働を目指している。

条例の改正

- 税条例（地方税法等の改正に伴うもの）
- 手数料徴収条例（コンビニ等に設置された機械からの証明書交付手数料の引下げ）
- 和東町議会議員及び和東町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（選挙運動用ポスター等の公費負担限度額の改正）
- 職員の子育休休業に関する条例（人事院規則の改正に伴うもの）
- 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例（期末手当支給率を年間0・05月分引上げ）
- 職員の給与に関する条例（若年層における給料月額を平均0.3%引上げ、勤勉手当支給率を年間0.1月分引上げ）
- その他
 - 和東保育園耐震補強及び大規模改修工事請負契約（1379万5100円の増額）
 - 権利の放棄（アグリビジネス株式会社株券に係る権利の放棄）

意見書

第4回定例会（12月）に次のとおり意見書が提出され、①・④の意見書は、所管大臣等に送付しました。

- ① G I G A スクール構想による一人1台端末や通信通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のための恒常的な国の支援策の創設に関する意見書

可決

提出者 村山一彦 議員
賛成者 8人
反対者 0人

- ② 「反撃」能力の保有と防衛費倍増方針の撤回を求める意見書

否決

提出者 岡本正意 議員
賛成者 1人
反対者 7人

- ③ 介護保険制度の改善、充実を求める意見書

否決

提出者 岡本正意 議員
賛成者 3人
反対者 5人

- ④ 旧統一教会問題の徹底究明と被害者の救済を求める意見書

可決

提出者 岡本正意 議員
賛成者 5人
反対者 3人

人権擁護委員の推薦について

任期満了に伴い、次の方の選任について諮問があり、選任することと答申しました。

久保 寿己 氏（新任）

令和4年第4回臨時会（10月）及び第4回定例会（12月）に提出された議案のうち賛否がわかれたもの

各議員の賛否

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡本 正意	畑 武志	小西 啓	岡田 泰正	
可決	本	和東町手数料徴収条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	権利の放棄について	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	和東町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
可決	本	和東町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
否決	本	「反撃」能力の保有と防衛費倍増方針の撤回を求める意見書	欠	×	×	×	×	×	×	○	×	×	-
否決	本	介護保険制度の改善、充実を求める意見書	欠	×	×	×	○	×	○	○	×	○	-
可決	本	旧統一教会問題の徹底究明と被害者の救済を求める意見書	欠	×	×	○	○	○	○	○	×	○	-

※会議区分の、本は本会議 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席 -は採決に加わらない
岡田泰正議長は本議会の採決に加わらない。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

12月13日・14日に行った一般質問には、5人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたずねました。各議員の質問項目を紹介します。

①村山 一彦 議員 （5 ページ）

1. シルバー人材センター設置への進捗は
2. 府道木津信楽線の整備について問う

③高山 豊彦 議員 （7 ページ）

1. 上下水道事業の課題は
2. 茶産業維持の取り組みは
3. 総合保健福祉施設の全体計画は
4. 妊娠期から出産・子育てまでの支援は

②畑 武志 議員 （6 ページ）

1. 町道整備事業について問う
2. 移住定住事業について問う
3. 新型コロナワクチン接種の今後の動向は

④岡本 正意 議員 （8 ページ）

1. 水道事業について問う
2. 定住促進へ公的住宅の整備を
3. シルバー人材センターの開設を

⑤藤井 清隆 議員 （9 ページ）

1. 地球温暖化阻止のため自立自存で地域の特性を発起する施策は
2. コロナ禍における心の傷について問う

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。





シルバー人材センター設置の 進捗状況は

村山 一彦 議員

町長

今年度内に事業者向け官公庁アンケートを実施し、検討準備を進めていきたい

問 3年前東部3町村で広域人材センター設立を目指し検討すると回答をいただいたが進捗状況は。

答 町長

令和4年度内に事業者向けアンケート、官公庁アンケートを実施し、その結果を基に検討準備を進めていきたい。

問 3年前から全然進んでいないのでは。

答

需要がどこにあるかという事を優先してきた。事業者の確保も非常に大きな課題と受け止めている。

問 高齢の独居老人が自己所有地の田の草刈りに困っている。助けてあげる気持はあるのか。

答 町長

非常に大事なことと理解している。広域でやるという方向性で進めているが、町というものもあり得るのか。とにかく実現させる方向で検討していく。

問 和東町は「美しい村連合」に入っているが、

府道沿いに放置された農地が増えていけば、退会に追い込まれないのか。

答 町長

「美しい村連合」は5年に一度、現地調査があり外されることはありえる。美しい村と認識されるまちづくりをみんなで造っていききたい。

府道木津信楽線整備について

問 府道に出ている立木の管理責任はどこにあるのか。

答 建設事業課長

民有地の場合、土地所有者への除伐の依頼、できない場合は道路管理者として検討する。現状進んでいないのが実情。

問 個人の土地であつたら、所有者の許可が難しいとの事だが、雑木の伐採は無理ないのでは。

答 建設事業課長

まず一つは通行権があるので、高さ4.5メートルまでは切ることは可能です。それを超えると所有権が発生

するので難しい。そして、地元の方だと理解は得られやすいが、相続されて地区外におられる方は難しい場合がある。

問

和東町は交流人口を増やす方法として観光事業を推進しているが、狭い道路のうえ、立木が出ている。不親切ではないか。

答 町長

本町の根幹路線であり、京都府に対し様々な整備を要望している。昨年度、本年度は舗装改良を重点的に実施している。

問 奈良交通からの苦情はないのか。

答 総務課長

運行開始当時には、原山、小杉間の道路に生い茂っている樹木の伐採やトンネル付近のカーブミラーの設置などの要望があった。近年では小杉停留所から都合殿、清水橋間の道路拡幅や樹木の伐採について計画的に実施している。昨年は原山地区内の法面の整備を行った。

問 森林環境譲与税の交付金を整備に当てられないか。

答 農村振興課長

一定の要件を満たし、手続を行った上で実施可能。関係機関と調整を図りながら進めていきたい。



草木が生い茂る府道木津信楽線

府道木津信楽線から町道和束笠置線に通じる 道路整備はどうなるのか

畑 武志 議員



町長

地元と土地所有者の ご理解を得ながら進めていく

問 府道木津信楽線、特別養護老人ホームわらわくから町道和束笠置線に通じる道路整備について。

答 町長

この整備計画は、「お茶の町を拓くグリーンロード21」の計画に位置づけるだけでなく、南部幹線のアクセス道路として計画が必須であり、5年度以降、地元と土地所有者のご理解を得ながら進めていく。

答 副町長

特養わらわくの運営を開始以降、周辺の方々、特に釜塚区民にご迷惑をかけていることから、この道路は最短距離で町道と和束笠置線へのアクセスが出来、施設の利便性を得られることから路線を決定していく。

答 建設事業課長

府道木津信楽線から現在建設中の総合保健福祉施設の間は、駐車場整備と併せて新設道路を築道する。

問 木津信楽線との交差点への設置計画は。

答 建設事業課長

道路管理者である府と木

津署、府警本部と協議し交差点設置は、和束交番東側に計画し、1日当たり600台前後の想定車両で計画を進める。併せてバス停を設ける計画である。

問 道路改良工事については。

答 建設事業課長

役場旧職員駐車場から、わらわくの間は、町道に認定されておらず現道を拡幅する計画で新たに町道認定を計画している。

この計画を3ブロックに分け、令和5年から3ヶ年計画で実施していくので、用地地権者のご理解・ご協力を得られるよう、進めていきたい。

移住定住事業について

問 空き家バンクの登録数は。

答 地域力推進課長

平成30年3月にバンクを設置し、平成29年度に2軒、平成30年度に5軒、その後令和4年11月末時点で24軒の空き家登録され、うち17軒が契約成立、未契約

7軒、現在2軒が交渉中である。

問 問合せ件数は。

答 地域力推進課長

令和3年度で25件、4年度12件。空き家バンクを利用されたい登録者数は81件。新型コロナウイルスの影響で、田舎暮らしが見直しされてきた。今後空き家バンクを拡大していきたい。空き家の掘り起こしを進めていきたい。

問 移住定住への支援状況は。

答 地域力推進課長

移住促進は人口増の重要な施策であり、和束町空き家活用移住促進事業補助金として湯船・東和束地域の空き家に対して上限180万円。西和束・中和東の空き家については上限90万円している。また空き家流動化促進事業では、移住者に空き家を売却・賃借する際に、家財の撤去等とその費用を支援している。その他新生活支援事業、子育て世

帯住宅リフォーム等の支援補助金等がある。

新型コロナウイルスワクチン接種の今後の動向は

問 令和5年度以降ワクチン接種に個人負担の協議がされているが、自己負担額は決定しているのか。

答 町長

感染症法での第2類から第5類への引下げの協議が開始された。インフルエンザと同程度となる。重症化率も低下しているもので、国の方向性・改正法を注視したい。

答 福祉課長

今後、国・京都府からの説明会が開催されると思うので国の方針が決まり、和束町の方針が決まりましたら要項等を作成していきたい。



府は下水道事業の広域化・共同化が検討されているが？

高山 豊彦 議員

町長

国・府などの動きも十分見定めながら検討したい。

問 下水道委員会に諮問する課題は。

答 町長 施設の在り方や住民負担の問題などについて、おはかりしたい。

問 下水道料金と合併浄化槽の管理費の差額への新たな補助制度の考えは。

答 町長 下水道料金の経常的な経費との関係から慎重に検討が必要。投資的な補助金も併せて検討したい。

問 簡易水道の広域化のメリットと課題は。

答 町長 最大のメリットは「経営のスケールメリット」、「有事の際の緊急対応」などがあり、自治体ごとに整備された水道事業は、施設の多種多様な課題がある。

答 建設事業課長 上下水道とも、住民の負担を少しでも軽減できる施策として取り組む課題であり、水道料金改定案などを激減させないためにも、広域連携事務を進めることが

必須と考えている。

問 汚水処理事業を効率的に進める取り組みは。

答 副町長 令和5年に出される京都府の計画に沿った、汚水処理計画のグランドデザインを作成していきたい。

問 専門家を含めた審議会を設置し、下水道事業を総合的に考え、将来的な公平性や、それまでの高齢者の負担をどうするのか議論・検討する考えは。

答 町長 負担金の問題や、し尿施設の在り方など、当面の問題はご意見を十分聞きながら考えなければならぬ。

茶産業維持の取り組み

問 「町全体がお茶のテーマパーク」という具体的な取り組みは。

答 町長 茶産地としてのブランド構築と日本茶の生産文化発信による観光を推進、都市農村交流の拡大による観光

産業の活性化を図り、茶畑の景観資産や茶産業の生産文化などを活かし、町全体を一つの茶室として「茶源郷エリア」の充実・整備を進めていく。

答 農村振興課長 農業者の支援と担い手・就農対策等、関係団体と連携しながら茶業振興を図り、茶産業維持の取り組みに努めたい。

問 担い手不足の茶産業者をどう維持していくのか。

答 町長 地域ブランドとして確立し、農家に誇りを持ってもらうことで、後継者が育っていくよう努力している。

総合保健福祉施設の全体計画は

問 施設への進入路や駐車場など役場周辺のグランドデザインは。

答 副町長 現在の診療所の前と新たに設置する駐車場で約60台分を確保、進入路は現在の西側と新たに東側を予定し

ている。東側の全体的なグランドデザインが固まった後、西側の全体的な整備計画を立てていきたい。

問 総事業費やイメージ図などの進捗状況は。

答 副町長 建築費は材料費の高騰などで、総額約15億4000万円になると予想している。イメージ図は12月26日に区長に配布したい。

妊娠期から出産・子育てまでの支援は

問 国の交付金を活用した支援の検討は。

答 福祉課長 妊娠期の過ごし方や出産までの見直し、出産時の手続きや産前産後のサービス、育児の悩みなど、各ステージに沿った相談支援を行い、子育て包括支援センターを中心に、より身近な相談支援ができるよう考えていきたい。





岡本 正意 議員

広域化で水道の公共性を保持、増進できるのか。

小さな自治体では困難があり、広域化推進は基本方向。

町長

問 府の広域化方針に賛成した理由は。

答 町長 府の動きを注視し有意な情報を得るのが大事。

問 良い悪いも不明で、効果も低いのになぜ賛成なのか。

答 町長 基本方向は推進だが乗り越えるべき課題はある。

問 広域化は水道法上の義務か。

答 町長 義務とは理解していない。

問 「低廉（低負担）な水の供給」はどう保障するのか。

答 町長 住民負担を抑え安心安全な水の供給に努める。

問 府計画では料金値上げが必要としているが。

答 町長 低廉と安心安全の最大公約数で判断すべき。

問 民営化の方向は、公共性と相容れないのでは。

答 町長 いくつかは議論がされると考える。

問 民営化は破綻した手法。明確に反対を。

答 町長 一つの方法と考える。

問 国や府に財政支援強化こそ要求を。

答 町長 支援を受けるための努力や施策への対応が必須。

問 広域化方針を住民、議会に丁寧な説明を。

答 町長 現在は府レベルの協議。町が具体化する時期に取組みたい。

水道料金等の負担軽減を

問 水道基本料金免除を来年度も継続を。

答 町長 今後のことは状況を見据えたい。

問 下水道、汲み取り料金の軽減を。

答 町長 状況を見据えたいが、利用者負担の理解を。

定住促進へ、公的住宅の整備を

問 トンネル開通の条件を生かした定住促進へ一定数の公的住宅の整備は不可欠では。

答 町長 民間整備を視野に具体化していく。

問 公的住宅整備は「せひ和東」のメッセージになる。長い目で考え検

答 町長 トンネル開通で民間の可能性を期待したい。

問 一定数の空き家を町が借上げ、公的賃貸住宅にしては。

答 町長 公的賃貸はリスクがあり民間活用を検討が得策。

シルバー人材センターの開設を

問 開設への進み具合は。

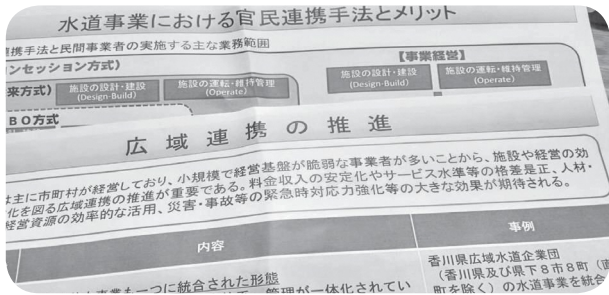
答 町長 調査やアンケートを実施、検討中。

問 来年度にも開設を。目途はどうか。

答 町長 早い時期に示せるよう進めている。

問 早期に言うのなら、具体的な目途を。

答 町長 新年度にできれば良いとの思いはある。



広域化や民間連携で水道はどうなる



生ゴミコンポスト、 全戸配布の考えは

藤井 清隆 議員

町長

町の進めている堆肥事業の 拡がり方を見て検討したい

問 国際的課題である二酸化炭素削減に寄与する再生可能エネルギーのうち、本町に於いて取り組み予定のあるものは。

答 建設事業課長

①太陽光発電についてー
②木質バイオ発電についてー
森林の乱伐につながらないか配慮を要する。いづれも慎重な議論が必要だ。

問 ウクライナの戦争や、円安によってもたらされた輸入資源の不安定化や高騰に対処するため、食糧の自給率向上や肥料の自給化が強く求められる訳だが、本町においては、これに対してどのように対応されているか。

答 農村振興課長

国の方では現在、食糧・農業・農村基本法の見直しを行っております。本町では茶関連産物や生ゴミを活用した堆肥作りにより肥料の自給率向上につなげ、また野菜を生産販売し地産地

消を目指しております。これを拡げたい。

問 今言われた生ゴミは立派な資源だ。単に焼却するのは全くのムダであり、不要の二酸化炭素の発生につながる。町で収集せず、コンポスト配布等を通して、各家庭での自己処理にしてはどうか。

答 町長

現在、住民と行政が協働して、活性化センターでの箱型コンポストによる堆肥化を推進しているところで、今後運動の拡がりを見て、生ゴミコンポスト全戸配布を検討する事も考えられるが、あくまで住民と協働で作り上げたい。

問 日本の防衛に関して、住民を守る為の核シエルトの建設を検討しているか。

答 総務課長

日本でのシエルト保有率は0.02%であり、国の補助金もなく、建設する考えはないが、原発事故や戦争などの危急の事態について



箱型生ゴミコンポスト

では、比較的頑丈なコンクリート施設等に住民を誘導する。

問 日本は国も国民も防衛意識が低く、主要国は軒並み数十パーセントのシエルト保有率であり、日本の大都市の地下でも核対応の避難設備が全く考えられていない。これは驚くべき大問題である。むしろ本町でそういう施設を検討準備する事が、日本国民への警鐘になると考えるが、どうか。

答 町長

このような農山村に核攻撃を受けるとは考えにくい

が、安全な住みよい田舎として整備できれば、都会人のシエルトエリアとして役割りを担えると考ええる。

コロナ禍における心の傷は

問 コロナ感染症による死亡者への対応について問題はなかったか。あれば指摘されたい。

答 診療所事務長

国保診療所の患者での死亡者はないが、医療従事者や関係者としては旅立つ方の尊厳を重んじ、ご遺族に寄り添いたい。

問 幼児などの年少者にとつて、コロナ禍における、長期のマスク着用生活は、大きな心の傷と思われるが、心理的ケアはどうだったか。また、状況は改善されたか。

答 福祉課長

従来よりマスク着用は緩和される場面が増えていますが、屋内などで感染し易い場面では、一定のマスク着用はまだまだ必要と思われるのでご理解のほどを。

総務厚生常任委員会

ワッカー実証実験

が始まる

村山 高山・岡本
畑・岡田 (勇)

11月28日、令和4年度事業の進捗状況について事務調査を行った。

総務課

○一般会計の予算執行状況は38億6690万円の予算に対し歳入63%、歳出39%の執行状況となっている。

○茶源郷まつりについては、今年度は、3年ぶりに令和5年2月下旬から3月上旬ごろ和東運動公園で現地開催を予定している。

○ふるさと応援寄付金事業では、11月10日時点で86件、104万円の寄付があり、昨年度比約2倍となっている。

○地域公共交通デマンド化事業「ワッカー」の運行状況は11月20日現在84名の方が登録、利用状況は累計27回、実利用者は5人。

福祉課

○認知症サポーター養成講座は6月に和東小学校の6年生が受講し、12月には和東中学校や老人クラブを対象に実施予定。

○新型コロナウイルス接種について2価ワクチン個別接種を9月28日からスタート。12月からは集団接種を予定している。

委員からの意見や質問

問 老人福祉センターの入り口の天窓とヘルパーステーションの雨漏りの対応は。

答 雨漏れの箇所の特定ができず応急対応になっている。早期に原因を究明し修繕したい。

問 価格高騰緊急支援給付事業の現在の進捗状況は。

答 対象世帯は527世帯。明日付けで確認書を送付す

問 いつ頃の給付になるのか。

答 2週間くらいを目途に振込みできるよう事務を進める。

問 ワッカーは11月14日から運行体系を変更されているが、その後の利用状況は。

答 利用者は5名で伸びていない。

問 当初実証実験は12月27日までとなっているがどうするのか。

答 来年1月から3月の期間で延長したいと考えている。

問 マイナンバーカードの申請状況は。

答 10月31日時点で1614人が申請。申請率は43.75%で全国平均55.47%より低い水準に留まっている。

問 マイナンバーカードは保険証として使用できると聞いているが、医療機関によると使えない表示がある。これはどういったことか。

答 カードの読み取り機器が未設置の為であり国の補助金も出ると聞いているので、一時的なものと考ええる。

一部事務組合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

第2回定例会が、11月25日に開催された。一般質問では、広域事務組合のあり方や聴覚・言語障害者の豊かな暮らしを築くネットワーク相楽委員会の要望書を問うなど質問された。

令和3年度一般会計・特別会計決算について、賛成者全員で認定。職員の給与等に関する条例の一部改正や補正予算等について、賛成者全員で可決した。

令和3年度 一般会計決算 歳入 2億5957万円
歳出 2億5497万円

相楽中部消防組合議会

第2回定例会が、11月25日と28日に開催された。11月4日に造成工事・斜面安定化対策工事の仮契約書を締結し、完成後、新庁舎建設工事に着手し、令和7年度の竣工を目指し事業が進む。

令和3年度一般会計決算について、賛成者全員で認定。補正予算や職員の育児休業等に関する条例、給与に関する条例等の一部改正について、賛成者全員で可決。新庁舎建設に係る請願書等が2件提出され、賛成者少数で不採択となった。

令和3年度 一般会計決算 歳入 14億4094万円
歳出 14億 35万円

産業常任委員会

石寺景観周辺に

駐車場を整備

吉田 井上・藤井
小西・岡田(泰)

11月29日、令和4年度事業執行状況等について事務調査を行った。

地域力推進課

○石寺景観周辺駐車場整備では、土地鑑定評価業務が終わり、今後測量設計業務へと進められる。

○空き家バンクの登録数は、11月10日現在、24件。住宅整備補助金を5件に対し交付決定を行った。

○観光案内所の4月から10月までの来場者数は、4102人、グリーンズローモビリティの利用者は、559人で前年度と比較すると2倍の人数となった。

農村振興課

○森林経営管理事業では、弥勒摩崖仏周辺の竹林を伐採する予定。

○生活応援事業として、1人1万円の商品券を、物価高騰による生活支援と

して、1人5千円の商品券をそれぞれ配布した。

建設事業課

○祝橋整備事業は、10月末に上部工の工事は完了した。

○石寺橋整備事業は、測量設計業務を発注し、府道木津信楽線との接合部分の交差点協議や橋台左岸側の工事を今年度末発注の予定である。

○府道宇治木屋線犬打峠トンネル工事について、現在和東町から400m掘削されている。発破についても音や振動などご迷惑をおかけするが、防音扉の設置などで対応する予定である。

総合施設整備課

○現在、社会福祉センター等解体工事が行われており、事業は順調に進んでいる。

委員からの意見や質問

問 みんなが主役の地域振興事業である和東茶を使用した商品開発の内容は。

答 和東茶ブランド新商品開発事業として現在、上香園さんのお酒とd・m・a・t・c・h・aさんのお酒とコレートの開発の2件の申請がある。

問 町道撰原下島線拡幅改良工事は、5年ほどかかるか聞いていますが、もっと早くできないのか。

答 水道の本管が入っており工事に時間もかかるが、順調に進めば3年ほどで撰原から下島公民館までの工事は完了する。生活道路でもあるので、通行できるように調整しながら実施する。

問 府道木津信楽線の白栖から撰原へ向かう和東川沿い右側の工事は何の工事が。

答 地すべりを起こしている危険なため京都府に対応していた。夏ぐらいまでかかると聞いている。

問 町営住宅への入居要件で単身の高齢者は入居しにくい、保証人がいないと入れないと聞か。

答 保証人は必要となるが単身者で入居できないという事はない。

一部事務組合議会・広域連合議会報告

山城病院組合議会

令和4年第2回定例会が、11月11日に開催された。一般質問では、選定療養費関連やマイナ保険証の対応、コロナ第8波に対する体制づくり等について質問された。

令和3年度病院事業会計決算、介護老人保健施設事業会計決算について賛成者全員で認定。「人工透析部」及び「人工透析室」を「腎センター」に改める等の組織条例の改正や人事院勧告による職員の給与条例の改正、使用料等徴収条例の改正、補正予算の増額など賛成者全員で可決した。

令和3年度	歳入	87億	731万円
	歳出	83億6384万円	
介護老人保健施設	歳入	5億3261万円	
事業会計決算	歳出	5億4872万円	

相楽東部広域連合議会

第1回臨時会が、9月16日と28日に開催され、相楽東部クリーンセンター擁壁安全対策工事請負契約の変更について賛成者多数で可決した。

また第3回定例会が、12月9日に開催され、一般質問では、ごみ問題やPTAの在り方、学校体育館におけるエアコン設置等について質問された。

令和3年度一般会計決算について賛成者全員で認定。補正予算や、ICT機器の更新費用などに係る国の恒常的な財政措置を求める意見書が議員提案され、賛成者全員で可決した。

令和3年度一般会計決算	歳入	8億2281万円
	歳出	8億27万円

まちの
“元気”を
訪ねて

“短い命で燃え尽きた陶芸家の息子さんの遺作と共に”

～和東町中 西田路幸さん・泰子さん～

今回は、17年前に大阪吹田市から和東町に移住された西田さんご夫婦に、27歳という若さで亡くなられた陶芸家の息子さん（潤さん）の遺された作品を見せていただき、お話を伺いました。

Q 和東町に移住されたきっかけは？

A 今から18年前に息子が亡くなり、当時、母校の大学に置いてあった息子の作品を引き取る事となり、その作品を展示するために家を探していた。そんな時偶然に和東町の土地を紹介していただき、周りが茶畑に囲まれ、景色も良いこの土地を即決購入し、家を建てた。

潤さんの作品等の紹介

潤さんは、京都精華大学出身で同大学で非常勤講師をされており、大学を卒業されて亡くなるまでの5年間という短期間にたくさん作品を造られ、若いながらも国内外問わず様々な賞を受賞され有望視されていました。インドネシア山奥の田舎で、陶芸の援助のための窯づくりをしている時に倒れ、急死された。日本で作品展をするために帰国する直前だったようです。亡くなられた後は、



予定されていた作品展の大阪のアートコートギャラリーのオーナーが主に引き継がれ、作品の展示や写真集などを作成されました。

作品は形として出来上がったものを割って仕上げる工法で、全て大きなオブジェとなっております。自宅でも展示されましたが、現在では、ほとんどが国内では岐阜県や兵庫県、和歌山県の美術館へ、世界においてはイタリアやアメリカ、イギリスの美術館などに所蔵されています。世界各国で潤さんの遺作が飾られています。

また作品は、シリーズ「絶」というタイトル（全てを絶ちきる）で、20作以上造られ、そのうち2005年に造られた最後の作品（右下の写真）が堂々とした姿で自宅で展示されています。小さい作品もたくさん造られ、世界中のコレクターの方が購入し、展示などされているようです。興味のある方は、是非、潤さんの作品をご覧になってはいかがでしょうか。

最後に、今後、西田さん夫婦も高齢になるので、作品をこれらの維持管理も含め、どうすべきか模索中であるとおっしゃっていました。

（取材 藤井清隆）



「西田潤作品集 絶」より



「西田潤作品集 絶」より

編集後記

令和五年の新しい年を迎え二か月がたち、春の息吹が感じられる季節となりました。

昨年を顧みますと、新型コロナウイルスが確認されて三年が経過しました。第8波が昨年末から新年にかけ感染者患者が増えています。早くマスク着用から解放される日が待たれます。

ロシアのウクライナ侵攻により重油関係、肥料等の物価が高騰しておりあります。また、異常気象が続く恐れと不安の入り混じった恐ろしい年でした。新しい年を迎え一日も早い平穏な日が迎えられることを期待したいと願うばかりです。

春になると農家にとっては新茶に向けて農作業に多忙を極めている頃だと思えます。資材の高騰を気にしつつ不安でしょうが頑張ってください。

4月になれば統一地方選が執行されます。意欲のある方は一人でも多くの方に挑戦を期待します。

（岡田泰正）

広報編集委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 村山一彦 |
| 副委員長 | 藤井清隆 |
| 委員 | 吉田哲也 |
| 委員 | 小西啓 |
| 委員 | 岡田泰正 |

第1回定例会は、3月上旬開催予定です。